

I 「雀の一羽でさえ、あなたがたの父のお許しなしに地に落ちることはありません」：29とは、

私達を愛しておられる父なる神のお許しなしには、私達の身に何事も起きないという意味。

神はすべての事を支配しておられるという意味。

私達の身に起こる事で偶然は、何一つない。そこには、神の支配、ご計画、意味がある。私達の分がある。それは、「父なる神は、私の身に起きている出来事を通して、何を教え、気づかせようとしておられるのか」思い巡らし、祈り求める事である。祈り続ける時、すぐには、分からなくても、神は、徐々に理解させて下さる。

「わたしがしていることは、今は分からなくても、後で分かるようになります」ヨハネ13：7。

今は、分からなくても、失望せず、忍耐し、神の時を待とう。神は、御言葉と日々の出来事を通して、私達に語り掛けておられる。

神の御声を聞く心の耳を与えて下さい。

II 「あなたがたの髪の毛さえも、すべて数えられています」：30とは、

神は、私達の事を、悩み、課題、状態、体調、環境、心の重荷他、すべてを隅々まで、知っておられ、愛し、支えて下さるという意味である。

私達は、時々、自己憐憫に支配され、「私の事を誰も分かってくれない」と落ち込む事がある。そんな時、この御言葉で励まされよう！

あなたが自分のことを知っていると思っている以上に、神は、あなた自身の事、あなたの悩み、課題、問題、状況、痛みを完全に理解し、支えて下さる。

神に信頼し、拠り頼もう。

III 神の摂理、御支配を知り、励まされて、日々歩もう。

「すべてのものが神から発し、神によって成り、神に至るのです。この神に、栄光がとこしえにありますように。アーメン」ローマ11：36

1. 私達、一人一人の背後で働いておられる神が、おられる。

一つ一つの出来事が神の摂理、御支配、神の御手の中にあり、一つ一つがつなぎ合わされ、神のみわざの完成へと向かわせられて行く。

2. 三位一体の神は、天と地を創造された後は、何もしておられないのではない。

「神は…世界を造られました。…御子は万物を保っておられます」ヘブル1：2，3。

神は、

①天と地の創造と

②創造から今日まで、造られた万物を保持（支配）し続けておられる。

私達の歩みの中に介入され、私達を、ご自身の摂理、御支配の中で扱っておられる。

神を信じる私達にとり、偶然という事はない。全知全能の神と違い、限界のある人間である私達には、分からない事があるが、すべての事柄には、すべてを支配しておられる神の意味、御目的がある。

私達の生涯は、神の恵みの介入のない生涯ではない。

神は、私達を一步一步確実に導かれる。神の時が来るまで、私達は、「待つ」事を学ばせられる。

「待つ、忍耐」とは、

①何もしない事ではなく、神を信頼し前向きに生きる事。

②神が働いて下さる時間を神に差し出す事。

③神が働いて下さる場所、スペースを神に提供する事。

しかし、必ず、神の最善の時がある。神の時が来るまで、神は、何もしておられないのではない。神は、ご自分のご計画により、御業を成し続けておられる。

「あなたがたの間で良い働きを始められた方は、キリスト・イエスの日が来るまでにそれを完成させてくださる」ピリピ 1：6

IV. 神は、私達を、ロボットではなく、人格と自由意思のある者として造られた。

それ故に、神が、すべての事を支配しておられると同時に、私達がなすべき分も神は、私達に与えられた。

1. 色々な問題の中で、「神の最善の御心が成るように」祈り続ける事を神は喜ばれる。

神は、必ず、神の方法で、神の時に、応えて下さる。

2. 私達自身が、神の道からはずれ罪を犯している時、神は、私達の心に働きかけ、神に立ち返るように導かれる。これは、幸いな事である。

いつまでも、神の道、御心からはずれた罪のままではいられない。

罪を悔い改めないまましていると、真の喜び、心の平安、聖なる力がなくなる。

悔い改めて、神との大切な関係に立ち返り、神との最も幸いな交わりが持てるように導かれる。

自分の罪が、神の祝福や将来の恵みを妨げている事もある。

愛に満ちた神は、私達の人生を本当に祝福しようと、いつも望んでおられる。

しかし、神が喜ばれない私達の罪が、神との霊的なパイプをつまらせ、神の祝福、恵みが、私達のもとに、流れて来ないことがある。

その時は、一刻も早く、神との関係を正したい！神は、恵もうと待っておられる。

3. 私達の人生の背後で、今、まさになされている神のみわざを認めたい。

あらゆることに、神の摂理、御支配を覚えたい。

「あなたの行く道すべてにおいて、主を知れ。主はあなたの進む道をまっすぐにされる。自分を知恵のある者と考えるな。主を恐れ、悪から遠ざかれ」箴言 3：6、7。

神は、昔も今も、全世界の歴史を支配し、そして、私達一人一人の人生を、そばにいて導いておられる事を認めたい。インマヌエルの神は、いつも私達とともにおられる。神のご計画は、私達の最善と真の幸いの為に備えられている。

「わたし自身、あなたがたのために立てている計画をよく知っている。一主のことば一。それはわざわざではなく平安を与える計画であり、あなたがたに将来と希望を与えるためのものだ」エレミヤ 29：11。

4. 私達の間で難しいと思える様々なことも、神は、すべてのことを組み合わせ、結び付け、すべてのことを益（私達の主の姿への成長、神のご計画が成る）として下さる。

「神を愛する人たち、すなわち、神のご計画にしたがって召された人たちのためには、すべてのことがともに働いて益となることを、私たちは知っています」ローマ 8：28

主の御業は、既に開始されている。神の摂理、神のご支配に信仰の目を留め、私達のまわりに起きている出来事の背後におられる神を心に留めて歩みたい。